

プレス発表資料（公開実験のお知らせ）

平成 27年 3月 2日
独立行政法人防災科学技術研究所

積雪後の降雨の影響を考慮した積雪荷重の 実スケール仮設屋根を用いた計測実験を実施

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、国土交通省建築基準整備促進事業「積雪後の降雨の影響を考慮した積雪荷重の設定に資する検討」（千葉大学、北海道立総合研究機構北方建築総合研究所、独立行政法人防災科学技術研究所、株式会社雪研スノーイーターズとの共同提案、独立行政法人建築研究所とも共同研究予定）の一環として、平成 27年 3月 7日（土）～10日（火）の降雪時に、新潟県長岡市の雪氷防災研究センター構内に設置した実物大の実験用仮設屋根を用いて、降雪後の降雨を考慮した屋根上の積雪荷重の実測調査を行います。この実験を通じて、緩傾斜屋根について降雪後の降雨の影響を考慮した積雪荷重の設定に関する検討を行います。

1. 実験主体：独立行政法人防災科学技術研究所、千葉大学、北海道立総合研究機構北方建築総合研究所、株式会社雪研スノーイーターズ（国土交通省事業、独立行政法人建築研究所共同研究予定）
2. 日時：平成 27年 3月 7日（土）～10日（火）（降雪時実験条件がそろった日に実施。後日頂いた連絡先に連絡）10時～13時ごろ
3. 場所：独立行政法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター
〒940-0821 新潟県長岡市栖吉町前山 187-16
4. 内容：別紙資料による。
5. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、国土交通省記者クラブ、新潟県記者クラブ

取材を希望される場合は、お手数ですが、別添の「ご回答用紙」にて防災科学技術研究所雪氷防災研究センターへ 3月 5日（木）までに FAX でお申し込み下さい。なお、事前のご質問に関しては、所属・氏名、質問内容、回答先（E-mail アドレス、FAX 番号）等を明記の上、下記連絡先に FAX 下さい。

積雪後の降雨の影響を考慮した積雪荷重の実スケール仮設屋根を用いた計測実験を実施

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、国土交通省建築基準整備促進事業「積雪後の降雨の影響を考慮した積雪荷重の設定に資する検討」の事業主体（独立行政法人防災科学技術研究所、千葉大学、北海道立総合研究機構北方建築総合研究所、株式会社雪研スノーイーターズ、独立行政法人建築研究所とも共同研究予定）の一環として、平成27年3月7日（土）～10日（火）の降雪時に、新潟県長岡市の雪氷防災研究センター構内に設置した実物大の実験用仮設屋根を用いて、降雪後の降雨を考慮した屋根上の積雪荷重の実測調査を行います。この実験を通じて、緩傾斜屋根について降雪後の降雨の影響を考慮した積雪荷重の設定に関する検討を行います。

1. 研究テーマ

積雪後の降雨の影響を考慮した積雪荷重の計測実験

2. 実験概要

(1) 実験条件

仮設屋根に一定の積雪深の雪を積もらせ、一定の降雨を与えた時の荷重の増加量と、その時間的変化を計測する。

(2) 実験での主な検証項目

ロードセルによる屋根荷重の計測、屋根雪状況の変化、流量計による屋根面からの流出量、スノーサンプラーによる密度計測。

(3) 試験体の概要

雪氷防災研究センター構内に、一般の建築物に用いられる屋根材や鋼材を使用した仮設屋根を設置し、仮設屋根流下側端部に雨どいを設け流出水を集め、その流路に流量計を取り付けた。また、一定量の降雨を供給するため人工降雨装置を設置した。さらに、試験体3, 4には屋根全体の荷重の変化を計測するため足場支柱4点にロードセルを設置した。

試験体 1 , スパン長:50m 屋根勾配 2°

試験体 2 , スパン長:20m 屋根勾配 2°

試験体 3 , スパン長: 5m 屋根勾配 2°

試験体 4 , スパン長: 5m 屋根勾配 10°

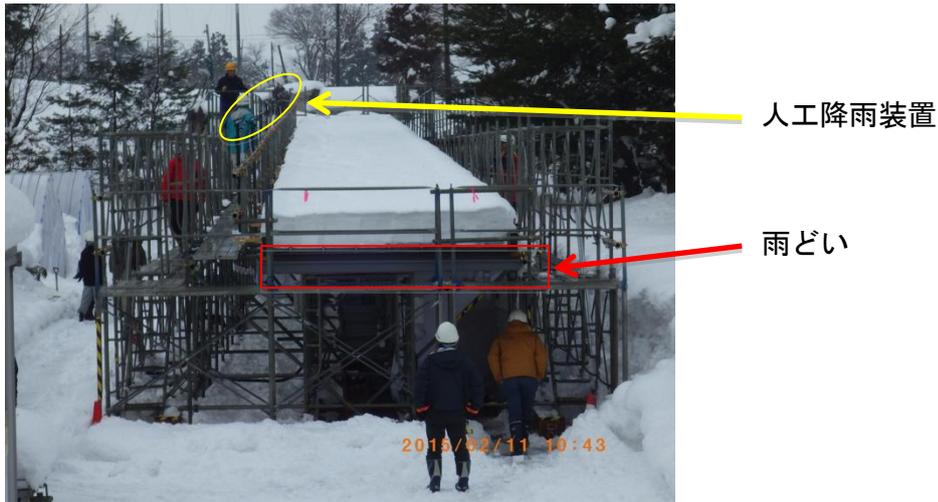


図1 試験体1 幅2.7m, スパン長50m, 傾斜2°



図2 試験体3, 4 幅2.7m, スパン長5m, 傾斜2°, 10°



図3 試験体3, 4の支柱に取り付けたロードセル

実験スケジュールと取材上の留意事項

(1) 公開実験スケジュール

平成27年3月7日(土)～10日(火)(降雪時実験条件がそろった日に実施)

9時30分：受付開始

10時00分：受付締切

10時00分：事前説明

10時30分：実験開始

13時ごろ：実験終了、記者会見(会議室)

(2) 取材上の留意事項

- ・見学及び取材にあたっては、現場の係員の指示に必ず従って下さい。安全には細心の注意を払っていますが、防災科学技術研究所に明らかに瑕疵があった場合を除き報道関係者の怪我、機材破損等の責任は負いかねますのでご了承下さい。
- ・工程の都合上、実験の予定が変更される場合があります。
- ・報道関係者の待機部屋はございません。

交通のご案内

【電車をご利用の場合】

JR 長岡駅東口より越後交通バス栖吉線乗車

前山町入口下車 徒歩 10分

【乗用車をご利用の場合】

長岡 I.C. より約 30分

施設内の駐車場は混雑が予想されるため、公共交通期間の利用にご協力願います。



防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター
公開実験担当 行き
(FAX : 0258-32-0020)

ご回答用紙

お手数ながら3月5日(木)までにご回答お願い申し上げます

件名：積雪後の降雨の影響を考慮した積雪荷重の計測実験

1. 御社名：

2. 御所属：

3. 御名前：

4. 人数：

5. 御連絡先：(TEL)

(FAX)
